

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【中島小学校】

学力向上
アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策	
重点的に育成する 資質・能力	学校テーマ 「児童が適切に自らの学びを選択し、自信をもって学びを進める資質・能力の育成」 ・自らの学びを調整し、選択する力 ・すべての学習の基礎となる「読む力」と「読書への関心」 ・他者と協働し、自信をもって表現する力	
↓		
実施する学力向上策 【時期・頻度】	1.読書活動の継続的な推進と啓発【通年・読書週間】 2.「ICT」と「具体物操作」のベストミックスによる授業づくり【通年】 3.一人ひとりに合った学習機会(個別最適な学び)の提供【通年】 4.主体性と協働性を高める「ICT活用」の充実【通年】	

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
		①目標の達成状況 ②向上策の妥当性
↓		
今年度の成果と 次年度の課題	結果提供(2月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	各教科・領域別にみると、国語においては「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「話すこと・聞くこと」等、算数においては「変化と関係」の領域で正答率が高い傾向がみられた。一方、国語の「情報の扱い方に関する事項」、算数は「データの活用」の領域で課題がみられた。また、国語では平均無解答率が改善されている一方、算数では平均無解答率が上がる傾向がみられた。	
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	国語・算数ともに、情報の取捨選択やデータの読み取りといった、情報の扱いに課題がみられる。国語では、学校課題研究等を通じ、国語の読解力が安定してきている。算数では思考・判断・表現に向上がみられている。	

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	さいたま市学習状況調査(5月)結果分析(管理職・学年主任等)	
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業	

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	教職員が「ICT」と「具体物操作」のベストミックスによる授業づくりや、一人ひとりに合った学習機会の提供について、PDCAサイクルで試行錯誤を繰り返し、実践を続けている。その中で、国語・算数ともに成果も出てきているが、情報活用力の育成にも力を入れていきたい。
	B	
↓		
学力向上策の 見直し	上記の1～4の学力向上策における「情報活用力の育成」を重視する。	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

ざらざら(情円)

児童生徒の
学力の向上

教育研究所